

4 加点審査における評価項目および配点

1 事業実施に関する事項

評価項目	評価の主な視点	配点	主な様式
事業の取組方針 および実施体制	<p>①滋賀県東北部工業技術センター整備基本計画の「新たな東北部工業技術センターの方向性」を踏まえ、目指す姿の実現のための優れた取組方針となっているか。</p> <p>②本施設の特性を踏まえ、事業の目的について適切に理解した上で、PFI 事業として実施するに当たっての基本的な考え方が示されているか。</p> <p>③代表企業、構成員、協力企業各社が各社の役割および責任分担、連携・協力・補完体制が明確で、事業実施に当たっての指揮命令系統など、事業実施体制が明確であり、当該体制を安定して継続する能力を有しているか。</p> <p>④建設業務に当たるもの、および設計業務に当たるものに「研究施設又は実験施設を有する大学または高等専門学校の実績」があるか。</p> <p>⑤県との連携、報告、連絡が適切かつ確実に実施されるための有効な取組方針および具体的な実施体制が示されているか。</p> <p>⑥有効なモニタリング方法、問題が生じた際のバックアップ体制等が提案されているか。</p> <p>⑦その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。</p>	30 点	3-3-2
資金計画	<p>①出資、融資の確実性を増すための工夫が示されており、資金管理の方法が優れたものとなっているか。</p> <p>②不測の資金需要に対する予備的資金の確保等、事業の安定化のための具体的かつ有効な提案が示されているか。</p> <p>③各費用の算定根拠が明確であり、不測の事態が生じた際も影響が最小となるよう妥当な計画提案が示されているか。</p> <p>④代表企業や構成員の財務状況が健全であるか。</p> <p>⑤その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。</p>	40 点	3-3-3 3-9-3 3-8-3 添付書類 3-1
リスクへの対応	<p>①各業務の履行に係るリスクが適切に認識され、具体的なリスクの管理体制およびリスクへの対応方針が提案されているか。</p> <p>②リスクが顕在化した際の具体的な対策が計画されているか。</p> <p>③その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。</p>	30 点	3-3-4
合計		100 点	

2 施設整備に関する事項

評価項目	中分類	評価の主な視点	配点	主な様式
施設全体計画	(1) 意匠・ 敷地利用	①イノベーション創出拠点、産業支援拠点として広く関心を持たれるようなコンセプトやテーマ性を持った優れたデザインや計画提案となっているか。 ②敷地条件を考慮した機能的で効率的な土地利用、施設配置、外構計画となっているか。また、将来の増改築に配慮した施設設計となっているか。 ③その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。	50点	
	(2) 動線計画	①施設のゾーニングは、利用企業にとって利用しやすい配置、内部動線計画となっているか。 ②本施設に来庁しやすい、利用しやすいアプローチ（歩車分離、搬入車両）となる外部動線計画になっているか。 ③悪天候時も利用企業が安全かつ容易にゾーン間を移動可能なレイアウトとなっているか。 ④その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。	50点	
	(3) 衛生環境	①外部の振動や騒音等の影響の軽減、また設備から発生する振動や臭気等に対する外部への影響に配慮した提案となっているか。 ②室内環境（空調、照明、衛生等）への配慮や情報化対応において工夫された提案となっているか。 ③各種感染症に対する換気等の環境設備、建具について抗菌素材、非接触方式等の工夫が提案されているか。 ④その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。	30点	

3-4-7
3-4-6

評価項目	中分類	評価の主な視点	配点	主な様式
諸室計画	(1) ゾーニング	<p>①近接、または隔離すべき諸室がゾーニングに反映され、利便性に配慮した機能的な提案となっているか。</p> <p>②将来的な設備や実験機器等の配置、用途変更に対応可能な諸室、ゾーニングになっているか。</p> <p>③玄関・展示交流ゾーンでの展示スペースは、効果的な展示が行えるような提案となっているか。</p> <p>④その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。</p>	40点	
	(2) 快適性	<p>①評価分析・観察ゾーン及び試作・試験ゾーンでは、温度、湿度、振動、耐食性、耐薬品性等、各諸室の特性に応じた提案がなされているか。</p> <p>②評価分析・試作機器を設置する諸室以外のトイレや廊下、交流・精算室、更衣スペースなどの共用スペースの仕様・規模・機能について、利便性・快適性に配慮した具体的かつ優れた提案がなされているか。</p> <p>③その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。</p>	40点	
	(3) 共同研究・開発ゾーン	<p>①オープンサロンは、玄関ホール等管理・運営ゾーンとの動線を考慮し、立ち寄ることが容易な工夫・提案となっているか。</p> <p>②オープンサロンは、常設、またはイベントとしての利用に際し、利便性、機能性の高い提案となっているか。</p> <p>③オープンラボは、様々な分野の企業の入居に対応可能な利便性、フレキシビリティの高い提案となっているか。</p> <p>④その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。</p>	70点	

3-4-8
3-4-7

評価項目	中分類	評価の主な視点	配点	主な様式
構造・防災性	(1) 防災性	<p>①十分な耐震性能の確保とともに、建築・設備計画とも整合した合理的な構造計画となっているか。</p> <p>②災害・事故等の発生時、利用企業の避難が安全で適切に行われるようなゾーニング・避難や救助の動線・平面計画・避難器具が提案されているか。</p> <p>③事業用地の気候特性を踏まえながら、暑さ・寒さ・積雪・風雨・凍結等への対策が適切に講じられているか。</p> <p>④その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。</p>	40点	<p>3-4-9</p> <p>3-4-8</p>
	(2) 防犯性	<p>①共同研究・開発ゾーンについて、本館と独立したセキュリティが実現され、利便性に配慮できているか。</p> <p>②利用企業に対する防犯や安全性に配慮した提案となっているか。</p> <p>③その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。</p>	40点	
安全性・工期に配慮した施設整備計画	—	<p>①設計施工スケジュールについて、現実的で品質および安全性を確保した適切な提案がなされているか。</p> <p>②敷地条件や施設内容を踏まえ、施工中の安全性確保、環境保全等の対応が十分考慮されているか。</p> <p>③引き渡し後、県が移設する設備や什器の設置・施工がスムーズに実施できるための提案がなされているか。</p> <p>④その他特筆すべき点、優れた点が見られるか。</p>	30点	<p>3-4-10</p> <p>3-4-9</p>
合計			390点	